

## 日本子ども社会学会 15 周年を迎えて

会長 住田正樹

日本子ども社会学会が設立されてから 15 年が経ちました。第 1 回が京都大学で開催されたのが 1994(平成 6) 年 6 月でしたが、ついこの間のような気がいたします。本学会は「子ども社会の科学的研究」を目的に設立されましたが、科学的研究には社会科学も自然科学も含まれますし、また文学、歴史、思想などの人文科学も含まれます。さらに実践的研究をも含まれます。要するに狭い学問領域に捕らわれることなく、広い視野から、そしてまたそれぞれの学問領域が相互に交流しつつ「子ども社会」を研究し、広く社会に貢献していこうという趣旨です。さらに「子ども」という具体的存在を学会名に入れているように、単なる抽象的な論に捕らわれることのないよう会員相互の交流を図り、研究と実践との架橋をも意図しています。

設立当初は 200 名ほどだった会員も今は 600 名を超え、本学会も広く知られるようになりました。創設期も順調に乗り越えましたが、これから働き盛りの充実期を迎えるといったところでしょう。それだけに本学会に対する期待も大きく、要請も多様化し、また評価も厳しくなることでしょうかから、これからの学会としての真価を問われるところだと思います。会員の皆様方には積極的に研究活動、実践活動を担っていただきたくお願い申し上げます。しかし学会誌を見ておきますと、この数年投稿者も大幅に増え、しかも若い方々の投稿が増え、掲載される論文も多領域にわたり、学会としての実績が着実に蓄積しているように思いますので大いに心丈夫に思っているところです。この 15 周年を一つの節目として学会の更なる活性化を図り、一層生生発展させていきたいと思っています。